
C O N T E N T S

「証券市場の機能と仕組み」及び「産業分析と企業分析」小冊子申込書(無料)

第 1 章 債券分析

[1] 投資と投資収益率	2
1 . 安全資産	2
2 . 投資の定義	2
3 . 投資収益率	3
4 . リスク・プレミアム	4
5 . 証券投資の保有ポジションと損益	7
[2] 債券の特性	12
1 . 債券の意義	12
2 . 債券投資のリスク	12
3 . 債券の種類	14
4 . リスクとクーポン・債券価格の大小関係	17
[3] 利回りと貨幣の時間価値	18
1 . 貨幣の時間価値	18
2 . 複利計算と将来価値	19
3 . 割引率と現在価値	22
4 . 年数回の複利計算	28
5 . 単利最終利回り	30
[4] 利回りと債券価格	34
1 . 複利最終利回りによる債券価格の計算	34
2 . 年金現価係数とクーポン収入の現在価値	38
3 . 各利回りの大小関係と債券価格	42
4 . 内部収益率と複利最終利回り	44
5 . 永久債	46
6 . 投資期間と利回りの種類	47
7 . 所有期間利回り	47
8 . 実効利回り	51

[5]	スポット・レートと利回り曲線	58
1.	スポット・レートと利回り曲線	58
2.	フォワード・レート	65
3.	将来のスポット・レート・カーブの変化	76
[6]	利回りの期間構造理論	82
1.	利回り曲線	82
2.	スポット・レート・カーブの形状	82
3.	利回りの期間構造理論	84
[7]	パー・レートと利付債利回り	88
1.	パー・レートとスポット・レート	88
2.	パー・イールドとスポット・イールドの関係	91
3.	スワップ・レート	91
4.	スポット・レートの推定方法	93
[8]	価格・利回り曲線	96
1.	価格変動リスク	96
2.	価格・利回り曲線	96
3.	価格・利回り曲線の性質	98
[9]	デュレーションとコンベクシティ	102
1.	デュレーション	102
2.	価格変化額の計算	107
3.	デュレーションを利用した予想価格のカイ離	113
4.	コンベクシティ	114
5.	債券の価格変化額の分解	116
[10]	デフォルト債の評価	120
1.	デフォルト債の要求投資収益率	120
2.	デフォルト債の評価	120
[11]	信用リスクと債券格付け	128
1.	格付けの機能と役割	128
2.	債券格付けとその内容	128

第 2 章 企業のファンダメンタル分析

[1]	主要な財務分析指標	134
1.	ファンダメンタル分析の重要性	134
2.	資本利益率	135
3.	自己資本純利益率	136
4.	ROEとROAの関係式	139
5.	売上高マージン率の分析	142
6.	資本効率(回転率)の分析	142
7.	財務安全性の分析	144
8.	損益からみた安全性分析	147
9.	セグメント情報	149
[2]	成長性の分析	152
1.	1株当たり利益	152
2.	潜在株式調整後1株当たり利益	152
3.	1株当たり純資産	159
[3]	キャッシュフロー計算書の分析	160
1.	キャッシュフロー計算書の概要	160
2.	営業活動によるキャッシュフロー	161
3.	投資活動によるキャッシュフロー	164
4.	財務活動によるキャッシュフロー	164
5.	フリー・キャッシュフロー	165
6.	キャッシュフローの分析指標	166

第 3 章 株式分析

[1]	配当割引モデル	170
1.	3つの評価モデル	170
2.	配当割引モデル	171
3.	定率成長型配当割引モデル	173
4.	ターミナル・バリューを考慮したDDM	181
[2]	フリー・キャッシュフロー割引モデル	186
1.	フリー・キャッシュフロー割引モデル	186

2. 定率成長型フリーCF割引モデル	188
[3] 残余利益割引モデル	192
1. クリーン・サープラス会計	192
2. 残余利益割引モデル	192
3. 定率成長型残余利益割引モデル	194
4. 残余利益モデルとPBRの関係	195
5. 残余利益モデルとターミナル・バリュー	196
[4] 株式の評価尺度	204
1. 株式の評価尺度	204

第4章 現代ポートフォリオ理論

[1] 投資家の効用関数	208
1. 効用関数	208
2. 効用関数と期待効用	209
3. 確実性等価額とリスク・ディスカウント額	212
4. リスク態様と効用関数	215
[2] 個別証券の期待値・分散	220
1. 期待投資収益率	220
2. 分散・標準偏差	221
[3] ポートフォリオの期待値・分散	226
1. ポートフォリオのリスク軽減効果	226
2. 共分散	226
3. 相関係数	228
4. ポートフォリオの投資収益率	230
5. ポートフォリオの期待投資収益率	231
6. ポートフォリオの分散・標準偏差	231
7. 相関係数とリスク軽減の関係	234
8. N個の証券を含むポートフォリオの分散	237
[4] 有効フロンティア	240
1. 相関係数と投資機会集合	240
2. 有効フロンティア	242

[5] 投資家の効用無差別曲線	244
1. 投資家の効用無差別曲線	244
2. リスク回避係数とリスク許容度	247
[6] 最適ポートフォリオの決定	248
1. 最適ポートフォリオの決定	248
2. 無リスク証券を含む最適ポートフォリオの決定	249
3. 有効フロンティア直線	252
4. 資本市場線	253
5. 最適ポートフォリオの投資割合の決定	254

第5章 資本市場理論

[1] 市場モデル	260
1. 市場モデル	260
2. 期待値・分散の分解	263
3. 決定係数	265
4. 市場モデルと消去不可能リスク	267
5. 証券特性線	271
[2] 資本資産評価モデル	274
1. 資本資産評価モデル	274
2. CAPMによる株式評価	276
3. ゼロ・ベータCAPM	278
4. CAPMの利用	280
[3] ファクター・モデルとAPT	282
1. ファクター・モデル	282
2. 裁定価格理論	284
3. ファクター・モデルとAPTの相違	284

第6章 ポートフォリオ・マネジメント

[1] 市場の効率性	286
1. 市場の効率性	286
2. 効率的市場仮説の検証	287

3 . 効率的市場仮説の分類	288
[2] アセット・アロケーション	290
1 . アセット・アロケーションの概要	290
2 . アセット・アロケーションの分類	290
3 . アセット・アロケーションの情報の流れ	291
4 . 戦略的アセット・アロケーションの決定	292
5 . 戦略的アセット・アロケーションの重要性	292
6 . リターンの予測	293
7 . マネジャー・ストラクチャー	294
8 . パフォーマンスの要因分析	295
[3] パフォーマンス評価	300
1 . 収益率測度	300
2 . リスク調整後収益率測度	304
3 . 情報比	308
[4] リスクニュートラルと状態価格	312
1 . 資産の不確実性	312
2 . 状態価格	313
3 . リスク資産の現在価値	315
4 . 状態価格の求め方 (別法)	316
5 . 状態価格とリスク中立確率	318

第7章 試験に出る統計学

[1] 基準値と標準正規分布	326
1 . 基準化 (標準化)	326
2 . 標準正規分布	326
3 . 目標値のZ値と生起確率	327
4 . 歪度と尖度	332
[2] 仮説検定	334
1 . 仮説の立て方	334
2 . 有意水準と帰無仮説の棄却	334
3 . 値と値の仮説検定	335

4 . 仮説検定の2つの誤り	336
----------------	-----

第8章 デリバティブ分析

[1] デリバティブの本質	338
1 . 現物取引とデリバティブ取引	338
2 . デリバティブの理論価格	339
3 . 為替先渡取引	340
[2] 先物取引	344
1 . 先物取引	344
2 . 先物価格の決定	349
3 . 先物取引の利用方法	354
4 . 先物価格の上限値・下限値	356
[3] わが国の先物取引	358
1 . わが国の先物取引	358
2 . わが国の債券先物取引	362
[4] オプション取引の内容	366
1 . オプションとは	366
2 . オプション取引の損益図	367
3 . オプションの理論価格	376
[5] オプション・プレミアム	380
1 . プレミアムの構成	380
2 . オプション価格の上限値と下限値	384
[6] オプション価格の決定要因・反応度	388
1 . オプション・プレミアムの決定要因	388
2 . リスク・パラメータ	392
[7] オプション価格の評価モデル	398
1 . 二項分布モデル	398
2 . リスク中立確率を用いるオプション価格	401
3 . ブラック＝ショールズ・モデル	407
[8] オプションの投資戦略	410
1 . ヘッジ戦略	410

2 . 裁定取引戦略	412
3 . コンビネーション戦略	418
4 . パーティカル・スプレッド戦略	422
5 . バタフライ・スプレッド戦略	423
6 . ダイナミック・ヘッジング	429
[9] 金利デリバティブ	434
1 . 金利先物取引	434
2 . F R A	435
3 . 金利スワップ取引	436
4 . スワップション	438
5 . 金利キャップと金利フロア	438
[10] わが国のオプション取引	440
1 . 株式オプション	440
2 . 国債先物オプション	443

補 章 基 礎 数 学

[1] 計算のルール	446
1 . 累乗と指数法則	446
2 . 平方根と立方根及び n 乗根	448
3 . 証券分析で用いられる記号	451
[2] 等比数列の計算	454
1 . 数列	454
2 . 等比数列	454
[3] 関数と微分	458
1 . 関数の内容	458
2 . 微分	464
付表	468